那議第３６号
令和８年１０月２日

那須町長　平　山　幸　宏　様

那須町議会議長　齋　藤　則　人

令和９年度予算編成における要望書

那須町議会では、この度、予算・決算審査や議会報告会（意見交換会）、所管事務調査、行政視察等を通じて町民等から寄せられた意見等のうち、新年度において予算化が必要な事項を下記のとおり取りまとめました。

人口減少、少子高齢化、物価高騰などの様々な行政課題への対応から、町財政が厳しいところではありますが、地方自治における二元代表制のもと町民の声を代弁する機関として、那須町議会の総意として提出するものでありますので、ぜひともご検討のうえ、令和９年度予算に反映していただきますよう要望いたします。

記

１　多くの農業用水路が整備から５０年ほどが経過し老朽化しているため、農業用水路普請制度を創設し、材料費支給の予算を確保すること。

２　本町における開拓道路の分布は多岐にわたり、道路の維持・補修において大きな課題があるが、当初予算が少額であるため、開拓道路維持補修工事費の増額を要望する。

３　鳥獣被害対策の強化は喫緊の課題となっている。鳥獣被害対策実施隊員への報酬や捕獲報償金の増額、更に狩猟免許取得等の補助制度の充実を図り、後継者の育成にもつながるよう必要な予算措置を要望する。

４　福祉タクシー料金助成事業で７５歳以上になる高齢者に対し、同居者が居ることを理由に対象外とせず、親族が日中仕事で外出支援が受けられない高齢者にも交付申請書に就労証明書を添付することで必要に応じた段階的な申請を可能にするなど、条件緩和を要望する。

5　小中学校の体育館トイレは老朽化が進み洋式化及びバリアフリー化が十分に図られていない。また、屋外トイレについては、体育の授業や部活動、地域の住民のスポーツ利用など、学校が休日の場合でも必要不可欠な設備であることから、計画的に整備し衛生的な環境を維持するために必要な予算を確保されるよう要望する。

6　水銀による環境負荷の低減を目的として、2027 年末までに一般照明用の蛍光灯が日本で製造・輸出入が全面的に終了となることから、本町でも小中学校や公共施設においても計画的に更新が進んでいる。しかし、ＬＥＤ照明器具への更新は高額の費用を要することから大きな負担が懸念されるため、脱炭素の推進と安全で快適な施設環境を確保するため、ふれあいルームや生きがいサロンに必要な予算を確保されるよう要望する。

7　友好都市交流は文化、経済、教育、防災等幅広い分野で交流を深めるもので、殺生石伝説つながりや、特に御用邸つながりで「御用邸所在地友好都市協定」を締結し、議員間交流も深めている。更に、今後も政策等の情報交換のためにも訪問団の受け入れ、派遣など友好都市交流が円滑に行えるように議員研修費の継続を要望する。

■問合せ
那須町議会事務局　増子　TEL：72-6926　（内線 411）